

2019 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52431	児童文化 Literature for Children	藤井 弓子 中西 由香里	専門	1	選択	2 年前期
科目の概要						
児童文化財をとおして、子どもの遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を体系的に修得し、実践力を養うことを目的とする。実際に人形やパネルシアターを制作し演じ方の技術を身に付ける。						
学修内容			到達目標			
① 児童文化財について概観する。 ② 児童文化の基本的な知識を身に付け、人形劇・パネルシアター等の意義と指導方法を理解する。 ③ 制作と演じ方の実演を体験する。			① 子どもの発達段階を理解し、児童文化財について説明することができる。 ② 子どもの文化財を保育へ展開するための実践的な活用方法について、自ら考え具体的に制作計画を提案することができる。 ③ 児童文化を保育へ展開するための知識を修得し、人形劇やパネルシアターを制作することができる。 ④ 人形劇・パネルシアターを演ずる技術を身に付け、発表することができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	児童文化財の良さを伝えるために、授業の中での発言や演習など積極的に関わることができること。また、技術修得のために自ら練習をすることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	失敗を恐れずに、とにかくやってみようとする果敢さをもって演習や発表に取り組むことができる。				
考え抜く力	課題発見力	児童文化財に触れ、思い込みや憶測で判断するのではなく、学んだ知識や情報を活かし、客観的に発達年齢にあった児童文化財を選ぶことができる。				
	計画力	制作計画表に記入した期限を守り制作できる。				
	創造力	作品を作り上げる力、人前で演じることができる力、感動を伝えることができる力量を身に付けることができる。				
チームで働く力	発信力	聞き手にわかり易い発表(声の大きさ・話す速さ・話す内容が整理されている)ができる。				
	傾聴力	相手の話す意見に共感的に聴くことができ、さらに自分の意見を述べることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	講義・演習に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:「人形のつくり方と脚本」子どもと文化研究会編/発行 必要に応じてプリント配布する。 参考文献:「新時代の保育双書保育内容ことば第3版」赤羽根有里子・鈴木穂波編(みらい)						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:保育内容「言葉」保育内容「表現」 資格との関連:保育士 幼稚園教諭						
学修上の助言			受講生とのルール			
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から児童文化財に関心を持つよう心がけると良い。 ・授業内での講義、演習、随時課される課題に対応できるよう、プリント等に目を通しておくことよい。 ・欠席をすると制作作業が遅れるため留意すること。 			<ul style="list-style-type: none"> ・授業内で指示したパネルシアターの資料等、大学図書館や公共図書館等で借り持参すること。 ・携帯電話の電源は切りカバンに入れておくこと。 			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	20	①	✓	・人形劇「なかよし」・パネルシアター制作の計画表を作成する
		②	✓	
		③	✓	
成果発表 (口頭・実技)	40	①	✓	・人形劇「なかよし」・パネルシアターの発表をする中で、習得技術や実践力を確認するために成果発表を行う。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
作品	30	①	✓	作品(片手人形・パネルシアター)の完成度で評価する。 特に高い・完成度は高く表現にも工夫が見られる・完成はしているが、表現方法に工夫と努力が必要である。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<主体性・実行力> ・児童文化財の良さを伝えるために、授業の中での発言や演習など積極的に関わることができ、技術修得のために自ら練習をすることができる。 ・失敗を恐れずに、とにかくやってみようとする果敢さをもって演習や発表に取り組むことができる。 <課題発見力・計画力・創造力> ・多くの児童文化財に触れ、学んだ知識や情報を活かし客観的に発達年齢にあった児童文化財を選ぶことができる。 ・制作計画表に記入した期限を守り制作できる。 ・作品を作り上げる力、人前で演じることができる力、感動を伝えることができる力を身に付けることができる。 <発信力・傾聴力・規律性> ・聞き手にわかり易い発表(声の大きさ・話す速さ・話す内容が整理されている)ができる。 ・相手の話す意見に共感的に聴くことができ、さらに自分の意見を述べることができる。 ・講義・演習に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するよう、ルールを守ることができる。
		②	✓	
		③	✓	
その他				
総合評価割合	100			レポート、成果発表、作品及び授業態度の成績を総合して評価する。

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達段階を理解し、児童文化財を選ぶことができ、児童文化財について説明することができる。① ・人形劇「なかよし」・パネルシアターの計画表を自ら考え、具体的に制作計画を提案することができる。② ・児童文化を保育へ展開するための知識を修得し、作品にしかけがあり、工夫が見られる。③ ・人形劇・パネルシアター等の意義と表現方法を身に付け、発表することができる。④ S(秀)=①+②+③+④、A(優)=①+②+④	<ul style="list-style-type: none"> ・児童文化財を選ぶことができ、児童文化財について説明することができる。① ・人形劇「なかよし」・パネルシアターの制作計画表を作成することができること。② ・作品に工夫が見られること。③ ・人形劇・パネルシアター等の表現方法を身に付け、発表することができること。④ B(良)=①+②+③+④、C(可)=①+②+④

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 「児童文化財」について学習する。	講義 (藤井/中西)	授業内容・評価等について理解できる。 児童文化財の活用方法について理解できる。	(復習) 保育教材の活用・制作のポイントについて復習しておくこと。	45	傾聴力 規律性
2週 /	人形劇の概要 人形劇を見る・「お話」を作る。	巡回指導で対応 講義・演習 (藤井)	人形劇を見ることにより、実践技術方法や保育と子どもとの関係性が理解できる。	(復習) 人形劇の実践技術のポイントをまとめておくこと。	45	主体性 創造力 規律性
3週 /	人形制作(1) 片手使い人形を制作する。	巡回指導で対応 講義・演習 (藤井)	片手使いの人形の制作方法を理解でき、作り始めることができる。	(復習) 片手使いの人形の完成を目指して作ること。	45	主体性 実行力 規律性
4週 /	人形制作(2) 片手使い人形を制作する。	巡回指導で対応 講義・演習 (藤井)	片手使いの人形の完成を目指して作る事ができる。	(復習) 片手使いの人形の完成を目指して作る事。	45	創造力 規律性
5週 /	人形制作(3) 人形の活かし方・演じ方を学ぶ。人形を制作する。	巡回指導で対応 講義・演習 (藤井)	効果的な人形の操作方法を身につけ、互いの技術の向上を図ることができる。	(復習) 片手使いの人形の完成を目指して作る事。	45	主体性 創造力 規律性
6週 /	人形制作(4) 人形の活かし方・演じ方を学習する。発表準備。	巡回指導で対応 講義・演習 (藤井)	効果的な人形の操作方法を身につけ、互いの技術の向上を図ることができる。	(復習) 人形の演じ方を練習すること。	45	創造力 規律性
7週 /	人形制作(5) 発表上演を実施する。	巡回指導で対応 講義・演習 (藤井)	自分で作った人形で発表上演することができる。また人前で演じる楽しさや面白さを理解できる。	(復習) 発表の振り返りを行って、より良い活かし方を見つけること。	45	発信力 傾聴力 規律性
8週 /	シアタースタイルの文化財 パネルシアターの概要	巡回指導で対応 講義・演習 (中西)	パネルシアターを見ることにより、実践技術方法や保育と子どもとの関係性が理解できる。	(復習) パネルシアターの実践技術のポイントをまとめておくこと。	45	傾聴力 主体性 課題発見力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	パネルシアターの制作(1) パネルシアターの魅力を学び制作する。	巡回指導で対応 講義・演習 (中西)	パネルシアターの制作方法を理解し、制作計画表に記入することができる。	(復習) 制作する作品を決めておくこと。	45	主体性 創造力 計画力
10週 /	パネルシアターの制作(2) パネルシアターを制作する。	巡回指導で対応 講義・演習 (中西)	パネルシアターの制作方法を理解でき、作り始めることができる。	(復習) 演習で学んだことをまとめておくこと。	45	主体性 実行力 規律性
11週 /	パネルシアターの制作(3) パネルシアターを制作する。	巡回指導で対応 講義・演習 (中西)	パネルシアターの完成を目指して作ることができる。	(復習) パネルシアターの完成を目指して作ること。	45	主体性 創造力 規律性
12週 /	パネルシアターの制作(4) 演じ方を学習する。	巡回指導で対応 講義・演習 (中西)	制作をとおして保育技術を身に付けることができる。	(復習) 演習で学んだことをまとめておくこと。	45	創造力 発信力 規律性
13週 /	パネルシアターの制作(5) 演じ方を学習する。発表準備。	巡回指導で対応 講義・演習 (中西)	効果的な操作方法を身につけ、互いの技術の向上を図ることができる。	(復習) パネルシアターの演じ方を練習すること。	45	創造力 計画力
14週 /	パネルシアターの制作(6) 発表上演を実施する。	巡回指導で対応 講義・演習 (中西)	自分で作った作品で発表上演することができる。また人前で演じる楽しさや面白さを理解できる。	(復習) 発表の振り返りを行人前で演じる楽しさや面白さを見つけること。	45	発信力 実行力 規律性
15週 /	全体のまとめ 全体のまとめと振り返りを行う。	巡回指導で対応 講義 (藤井/中西)	学んできたことの振り返りを行う。	(予習) 今までの学習の振り返りを行っておくこと。	45	主体性 傾聴力 規律性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力